

天気予報で確認!

秋から冬にかけて、爆弾低気圧といわれる急速に発達する大きな低気圧が発生しやすい季節です。特に、冬季に発生するものは暴風雪を伴うため、大きな被害をもたらします。日頃から、天気予報で事前に確認し、暴風雪事故に遭わないようにしましょう。

暴風雪の怖さ

ホワイトアウト現象  
吹雪で視界が真っ白になり、何も見えなくなります。暴風で飛ばされそうになることもあります。



凍傷の恐れ

体感温度は、風速1mで1度下がるといわれています。

自動車の運転は、危険な場合も

◆吹雪の中の運転は危険

視界が悪く、対向車や前の車も見えません。直ちに安全な場所に駐車して、屋内に避難しましょう。



◆吹きだまりは危険

建物や防雪柵の陰、土手などではあつという間に発生します。

◆エンジンをかけたまま車内にいるのは危険

車内に排気ガスが入り込み、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。エンジンをかけたまま車内にとどまるのはやめましょう。やむを得ずエンジンをかける場合は、排気マフラー周辺を除雪しましょう。

◆自動車に積んでおくと安心

- 防寒着・手袋 ●懐中電灯 ●スコップ
- けん引ロープ ●菓子・ビスケットなど

除雪中の事故に注意!

◆雪下ろし

- 一人では行わない
- 命綱・安全帯を使う
- はしごは固定する
- 屋根からの落雪に気を付ける
- 無理な作業はしない

◆除雪機

- 正しい操作方法を理解する
- 周囲に人がいないか確認する
- 機械に巻き込まれない服装で作業する
- 点検時はエンジンを止める

避難所運営ゲーム「HUG」の北海道版「D oはぐ」(冬季の避難所運営)が配布されました。出前講座で体験できます。詳しくは問い合わせてください。

生活 水道管の凍結に注意

寒さが厳しくなると水道管の凍結が増えます。水道管が凍結すると、水道が使えなくなるだけでなく、修理代など思わぬ出費につながります。凍結の恐れがあるときは、昼夜を問わず水抜き栓で水抜きをしましょう。

★こんなときは要注意

- 気温がマイナス4度以下のとき
- 一日中、気温が氷点下の真冬が続いたとき
- 旅行などで長期間水道を使用しないときや、空き家を管理しているとき(漏水事故を防止するためにも、季節に関わらず水抜きをしましょう)

★水抜きをするとき

- ①蛇口を開け、水を流す
  - ②水抜き栓のハンドルが止まるまで右に回す(レバーの場合は「止」の方向に操作する)
  - ③空気入れ蛇口がある場合は、全開にする
  - ④しばらくしてから空気入れ蛇口と蛇口を閉める
- \*給湯器の水抜きは、取扱説明書に従ってください。

★水を出すとき

- ①空気入れ蛇口と蛇口が閉まっていることを確かめる
- ②水抜き栓のハンドルを止まるまで左に回す(レバーの場合は「出」の方向に操作する)
- ③蛇口をゆっくり開ける

指定給水装置工事事業者が分からないときは、お問い合わせください。市ホームページ「くらしの情報→上下水道→こんなときは」からもご覧になれます。



水抜き栓とは...

水道管の水を抜くための装置です。設置されている場所は、家庭によってさまざまです。普段から、水抜き栓の場所と動作を確認しておきましょう。

凍結してしまったときは



水道管や蛇口などにタオルを巻き付け、上からぬるま湯をゆっくりかけます。熱湯を直接かけたり、直火を当てたりすることは絶対にやめましょう。水道管や蛇口が破裂する危険があります。30分ほど待っても水が出ないときは、市の指定給水装置工事業者に修理を依頼してください。費用は自己負担です。